



あさくら

平成29年

11.15

No.47

市議会だより

委員会にて慎重な議論

②ページ

補正予算は大幅な増額

④ページ

平成28年度の決算を認定

⑥ページ

災害なんかに負けんばい!!

早く元の生活に戻れるように、
私たちも元気に頑張っています。
(応急仮設住宅頼田団地にて)

地球の資源を大切に!! 再生紙を使用しています。

9月定例会

一般会計補正予算

当初予算の約1/3の額**111億6812万円**を増額補正
財政調整基金は**27億8897万円**の取り崩しを予定

詳細かつ慎重な審査を

委員会付託案件

議案等の詳細な審査と結果の報告を委員会に委ねることを「委員会付託」といい、付託された委員会は審査の結果を本会議で報告します。ここでは各常任委員会で審査された案件等の一部を掲載しています。

会期日程

- 8月30日
 - ◎開会
 - 会期の決定
 - 会議録署名議員の指名
 - 議案等の上程
 - 提案理由の説明
 - 一部議案の審議
(質疑・討論・採決)
 - 決算審査特別委員会の設置
 - ◇決算審査特別委員会
 - 議案等の質疑
 - 議案等の委員会付託
- 31日、9月1日
 - ◇常任委員会
- 4日
 - ◇決算審査特別委員会
(普通会計決算の状況及び質疑・各課質疑)
- 5日
 - ◇決算審査特別委員会
(総括質疑)
- 6日
 - (事務整理日)
- 7日
 - 議案等の審議
(委員長報告 質疑・討論・採決)
 - 追加議案等の上程
 - 提案理由の説明
 - 追加議案等の審議
(質疑・討論・採決)
 - 諸般の報告
 - ◎閉会

平成29年第4回定例会は、8月30日から9月7日までの9日間の会期で開催されました。今回の定例会は、7月5日に本市を襲った豪雨災害の復旧に配慮し、一般質問を行わず、決算審査特別委員会も2日間の日程で行うという異例のものでした。

開会日には市長から報告5件を含む29件の議案等が上程されたほか、意見書案1件、請願書1件が上程されました。このうち、副市長等2件の人事案件については即日採決を行い、全員異議なく可決しました。副市長不在であった本市にとって、今後災害の復旧・復興を行っていく上でそのポストの決定は念願であり、その手腕に大きな期待を寄せるものです。

本定例会では平成28年度決算の審査を行ったほか、豪雨災害に伴う一般会計111億円を超える増額補正予算の審査を行いました。財政状況が順風満帆とは言えなかった本市の財政状況にとつて、今回の災害は大きな痛手であることは間違いないと、市政の転換期になることが予想されます。

人事案件

左記の方々の人事案件について同意しました。

朝倉市副市長

中野 信哉 氏

朝倉市固定資産評価委員

中野 信哉 氏

公平委員会委員

井上 恒夫 氏 (菩提寺)

人権擁護委員

久保山 憲二 氏 (小田)

林 利則 氏 (黒川)

太田 浩二 氏 (上秋月)

高倉 保之 氏 (杷木星丸)

災害の復旧・復興に向けて

総務文教常任委員会

9月定例会で付託された議案2件を審査しました。

★**基幹系仮想サーバ群の機器類及び教職員用のパソコンを購入します**

本委員会には、2件の財産の取得に関する議案が付託されました。

第79号議案は、住民基
本台帳システム、税情報、
福祉情報などで使用して
いる基幹系仮想サーバを
構築している機器類が6
年を経過するため、入れ
替えを行うもの、第80号
議案は、市内小中学校の
教職員が教務及び事務作
業に使用する6年以上が
経過したノートパソコン
279台を更新するもの
です。いずれの案件に関
しても必要な措置である
ことが認められるため、
全員異議なく原案のお
り可決しました。

★**一般会計予算は災害復旧に伴い大幅な増額**

一般会計補正予算の審査を行いました。増額補正の要因は、7月5日に

発生した豪雨災害に伴う緊急的かつ応急的な措置に関するもの及び中長期

的な復旧、復興に関するものが大多数でした。財源が不足する部分に充当する財政調整基金に関しては、平成28年度末残高の約43億円から約28億円を取り崩す予定であり、このままいけば残高は約15億円となつてしまいま

す。今後、財源が不足する部分に対して国や県から充当してもらええる見込みは薄いとのことであり、緊急かつ迅速な措置が必要であったとは言えども、今後の財政運営に大きな不安を残すものとなります。

健康増進と医療費削減で 国民健康保険の運営改善を

環境民生常任委員会

9月定例会で付託された議案4件を審査しました。

★**平成28年度朝倉市国民健康保険特別会計の決算を認定**

平成28年度の国民健康保険の被保険者数は1万4436人となり、平成27年度に比べて585人減

少しました。この要因は、社会保険制度の適用対象の拡大と、加入年齢を迎えた方の後期高齢者医療への制度移行であると考えられます。歳入では、国民健康保険の収納率が年々向上しています。歳出では、保険給付費が56.2%を占めています

が、平成27年度と比べて2億4207万円減少しています。この要因は、被保険者数の減少や、一部の薬が減額改定された影響などが考えられます。平成28年度の療養諸費を見ると、一人あたり年間40万3千円となり、平成27

年度と比較して3084円減少しているものの、依然として高い水準です。

歳入歳出差引額は3億6826万円の歳入不足となつていますが、平成29年度予算からの繰上充用が行われています。

また、朝倉診療所の運営に関しては、平成29年度から全国健康保険協会の健康診断を受け入れるために、平成28年度に診療所内の工事やシステムの整備を行い、受診者を増やすための努力がなされていま

す。委員会では、被保険者の健康増進と医療費の削減に向けた執行部の更なる努力を期待し、全員異議なく原案のとおり認定しました。

また、一般会計は、道路、橋りょう及び河川の災害復旧事業として43億7252万円の増額、農林業関係の災害復旧事業として15億7800万円の増額となりました。激



豪雨災害によるライフライン の復旧事業費が増大

建設経済常任委員会

9月定例会で付託された議案12件と請願1件を審査しました。

★**災害復旧事業等に伴う補正予算を審査しました**

平成29年7月九州北部豪雨に伴い、水道事業会計では、杷木浄水場の被災に伴う移動式浄水装置の借り上げ料、杷木浄水場及び配水管の修繕工事

等で4億7503万円の増額、下水道事業会計では、マンホールポンプ場や浄化槽の災害復旧事業等で1億4884万円の増額となりました。委員会では被災状況及び復旧状況などを確認し、全員異議なく承認、可決しました。

また、一般会計は、道路、橋りょう及び河川の災害復旧事業として43億7252万円の増額、農林業関係の災害復旧事業として15億7800万円の増額となりました。激

甚災害指定を受け、国の補助率は上がりますが、災害復旧事業には莫大な予算が必要であり、市の負担も大変大きなものとなります。

★**被災した中小企業・小規模事業者に対する支援を**

今回の豪雨災害により多くの事業所が被災しました。しかし、中小企業・小規模事業者に対する施設、設備、運営等に対する補助金などの財政支援がありません。

復旧、再興、地域経済の立て直しのために補助金制度の早急な創設が必要であると判断し、請願書を採択、国及び関係機関へ意見書を提出しまし

た。



被災した杷木浄水場



6812万円 2387万円 の増額 額 予算規模は418億7812万円に

未曾有の 災害復旧に向けて

7月5日に本市を襲った未曾有の大災害は、緊急的かつ応急的な対応を迫られた結果、多額の費用を必要としました。

平成29年度予算は、一般会計111億6812万円、企業会計6億2387万円の増額補正が行われました。財源として国や県からの補助金等もありますが、全額がまかなえるわけではありません。

不足する財源として、財政調整基金の充当が予定されており、このとおりに取り崩しが行われた場合には、平成28年度末に約43億円の残高であったものが、約28億円の取り崩しで、残高が約15億円まで減ってしまうこととなります。

今後執行部は10年に及ぶ復興計画を策定する予定です。ふるさと朝倉の地を取り戻すために、議会も執行部と共に復旧・復興にしっかりと取り組んで参りますので、市民の皆さまのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

「災害復旧・復興 計画策定経費」に 1700万円

被災地の思いや願いを反映させ、復旧、再生、発展させる朝倉市復興計画を策定します。

「災害救助費」に 15億986万円

避難所に設置された設備や食事など、避難所の運営に係る経費です。

また、被災された方への災害弔慰金・災害見舞金の、人命捜索に必要な重機の借上料やその燃料代、給水支援に係る水道協力負担金、住宅の応急修理・障害物除去経費などです。

「コミュニティ 推進費」に 3200万円

被災したコミュニティへの活動支援金及び自治公民館の修繕費補助金です。

「災害対応公用車 購入経費」に 2000万円

災害に対応する公用車が不足したため、20台を購入しました。

「被災した消防団 車両の修理経費」に 1359万円

災害現場や火災現場に向かう途中で水に浸かるなどして故障した消防団車両6台の修理費です。

「災害対応派遣職員 に関する経費」に 9532万円

他の自治体からの派遣職員を受け入れるため、派遣職員に対する災害派遣手当、公舎借上料、派遣元自治体への負担金、人材派遣職員委託料などです。

「水道事業」に 4億7503万円

杷木浄水場の被災に伴う、移動式浄水装置の借り上げ料、杷木浄水場及び配水管の修繕工事などです。

「農地・農業用施設・ 林道災害復旧事業 費」に 15億7800万円

農地、農業用施設災害復旧の単独事業に係る個人負担を軽減するための経費を含む、農林業関係の災害復旧事業費です。

平成29年度補正予算

災害復旧・復興で膨らむ予算

一般会計 111億
企業会計 6億

一般会計補正は当初予算の約1/3の増

(千円)

	一般会計	水道事業会計		下水道事業会計
		うち収益的支出	うち資本的支出	うち収益的支出
当初予算	30,710,000	548,100	198,870	2,104,193
7月補正(専決)	937,960	16,500	-	-
7月補正②(専決)	7,670,259	400,631	-	148,844
9月補正	2,559,909	-	57,900	-
補正額合計	11,168,128	417,131	57,900	148,844
補正後予算	41,878,128	965,231	256,770	2,253,037

「施設災害
復旧事業費」に
1億2050万円

三連水車の里あさくら、共星の里、東中町集会所及び教育集会所、杷木老人福祉センター、松末保育所などの公共施設の流木・土砂撤去、損壊箇所の修理並びに国指定の史跡・建造物・天然記念物等の復旧作業などに係る経費です。

「災害ボランティア
に関する経費」に
2000万円

災害ボランティアセンターの借上料、送迎バス、ダンブ、トイレカーなどの借上料などに係る経費です。

「道路・橋梁・河川
災害復旧事業費」に
43億7252万円

道路、橋梁、河川などを復旧する経費です。

「災害ガレキ処理、
被災した家屋の処分、
消毒等」に
18億1200万円

災害により生じたガレキの処理、被災家屋の消毒などの経費及び被災家屋の撤去の経費です。

「農家に対する
経営支援経費」に
7億2902万円

被災した農家等に対して農業施設の修繕や再取得に対する助成など、経営継続を支援するための経費です。

「公営住宅災害
復旧事業費」に
7760万円

被災した久喜宮団地、林田東団地、杉馬場団地の復旧費用及び松末団地、星丸団地の解体、撤去費用などです。

「被災した小中学校
の復旧経費等」に
2億7113万円

被災した松末小、志波小学校の仮校舎を久喜宮小学校敷地内に建設する費用、それに伴うスクールバスの運行、比良松中学校をはじめとする小中学校の災害復旧費用です。

「消防団員に対する
費用弁償費用」に
1500万円

行方不明者捜索などに出役された消防団員に対する費用弁償です。



捜索活動を行う消防団

平成28年度

一般会計・特別会計の決算を認定

普通交付税（合併優遇措置）の段階的な縮減が始まる

今年の決算審査特別委員会は、平成29年7月九州北部豪雨で受けた本市の災害を考慮し、執行部が災害復旧作業などに従事することができるように、各課説明を省略し審査日程を通常の4日間から2日間に短縮して行われました。

平成28年度普通会計決算は、歳入総額299億8685万円、歳出総額292億8700万円となりました。水源地域整備計画に基づくダム関連事業等やその財源となる基金積立金、杷木統合小学校施設建設事業などにより、歳入、歳出ともに前年度を大きく上回りました。実質収支は5億8607万円の黒字、実質単年度収支も4億1491

万円の黒字となりました。

財政調整基金に3756万円の積み立て、地域振興基金に5億569万円の積み立てを行った一方、減債基金を1億6856万円取り崩しました。

平成28年度も普通交付税や臨時財政対策債合併などの優遇措置がありました。普通交付税は平成28年度から段階的な縮減が始まり、平成33年度には完全になくなります。

今後は議会としても有効な財源の確保や行政評価による事務の改善、事業の優先性などを考慮した効率的な行財政運営が行えているかなどをチェックしていく必要があります。

平成28年度 朝倉市会計別決算

区 分	歳 入	歳 出	
一 般 会 計	299億6147万円	292億6162万円	
特 別 会 計	住宅新築資金等貸付	853万円	853万円
	簡 易 水 道	993万円	993万円
	国民健康保険 (事業勘定)	83億1757万円	86億8583万円
	国民健康保険 (直営診療施設勘定)	2億6241万円	2億5130万円
	後期高齢者医療	8億5958万円	8億3428万円
	介護保険 (保険事業勘定)	54億2447万円	53億3103万円
	介護保険 (介護サービス事業勘定)	1299万円	100万円
	下水道事業	21億9040万円	21億7135万円
	農業集落排水事業	3億8717万円	3億6872万円
	個別排水事業	2億8697万円	2億8032万円
	工業用地造成事業	68万円	68万円
小 計	177億6074万円	179億4302万円	
合 計	477億2222万円	472億 464万円	

※万未満切り捨てのため、計が一致していません。

【平成28年度普通会計歳入歳出決算の主な財政指標】

歳入総額	299億8685万円	前年度	284億1806万円
歳出総額	292億8700万円	前年度	277億3952万円
経常収支比率	90.9	前年度	89.9
実質公債費比率	8.6	前年度	8.4
財政力指数	0.54	前年度	0.55
基金現在高	133億9989万円	(前年度比3億3611万円増)	
地方債現在高	271億2397万円	(前年度比12億3036万円増)	

普通会計：地方財政状況調査上、統一的に用いられる会計区分です。このことにより、他の自治体と同条件で財政状況を比較することができます。

本市の場合は、「一般会計」に「住宅新築資金等貸付特別会計」と「農業集落排水事業特別会計」の「美奈宜の杜地域し尿処理」を合計したことになります。

9月定例会で審議した議案等の結果です

◎…全会一致
○…賛成多数
※…討論あり

議案番号	議案の件名	議案の内容	
総務文教常任委員会			
第79号議案	財産の取得について(基幹系システム機器等)	基幹系システム機器等を取得するもの 取得価格 33,704,169円 契約の相手方 株式会社日立システムズ九州支店	◎可決
第80号議案	財産の取得について(教職員用情報通信端末)	市内小中学校教職員用パソコン279台を更新するもの 取得価格 22,659,264円 契約の相手方 株式会社麻生情報システム飯塚事業所	◎可決
環境民生常任委員会			
第65号議案	平成28年度朝倉市住宅新築資金等貸付特別会計歳入歳出決算の認定について		◎認定
第67号議案	平成28年度朝倉市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について		◎認定
第68号議案	平成28年度朝倉市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について		◎認定
第69号議案	平成28年度朝倉市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について		◎認定
建設経済常任委員会			
第60号議案	専決処分について(平成29年度朝倉市水道事業会計補正予算(第1号)について)		◎承認
第62号議案	専決処分について(平成29年度朝倉市水道事業会計補正予算(第2号)について)		◎承認
第63号議案	専決処分について(平成29年度朝倉市下水道事業会計補正予算(第1号)について)		◎承認
第66号議案	平成28年度朝倉市簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定について		◎認定
第70号議案	平成28年度朝倉市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について		◎認定
第71号議案	平成28年度朝倉市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について		◎認定
第72号議案	平成28年度朝倉市個別排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について		◎認定
第73号議案	平成28年度朝倉市工業用地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について		◎認定
第74号議案	平成28年度朝倉市工業用水道事業の利益の処分及び決算の認定について		◎可決及び認定
第75号議案	平成28年度朝倉市水道事業決算の認定について		◎認定
第77号議案	平成29年度朝倉市水道事業会計補正予算(第3号)について		◎可決
第78号議案	朝倉市企業立地促進条例の一部を改正する条例の制定について	農村地域における就業の場を確保するため、支援対象の業種を工業等に限定せず、立地ニーズが高いと見込まれるサービス業等にも拡大するもの	◎可決
29請願第2号	平成29年7月九州北部豪雨における被災商工業者への復旧復興支援に関する請願書		◎採択
決算審査特別委員会			
第64号議案	平成28年度朝倉市一般会計歳入歳出決算の認定について		◎認定
その他			
報告第13号	専決処分の報告について(倒木事故による損害賠償について)	平成29年4月18日、朝倉市川の駅原鶴敷地内の樹木が倒れ、隣接する駐車場内に駐車していた軽自動車に損害を与えたため損害を賠償し、和解するもの	報告済
報告第14号	専決処分の報告について(市道上の事故による損害賠償について)	平成29年7月15日、普通自動車が市道を左折する際に仮設の側溝蓋が跳ね上がり、車体を損傷したため損害を賠償し、和解するもの	報告済
報告第15号	平成28年度朝倉市健全化判断比率等の報告について		報告済
報告第16号	平成28年度甘木鉄道株式会社の決算について		報告済
報告第17号	平成29年度甘木鉄道株式会社の事業計画について		報告済
第59号議案	専決処分について(平成29年度朝倉市一般会計補正予算(第1号)について)		◎承認
第61号議案	専決処分について(平成29年度朝倉市一般会計補正予算(第2号)について)		◎承認
第76号議案	平成29年度朝倉市一般会計補正予算(第3号)について		◎可決
第81号議案	朝倉市副市長の選任について		◎同意
第82号議案	朝倉市固定資産評価員の選任について		◎同意
第83号議案	朝倉市公平委員会委員の選任について		◎同意
第84号議案	人権擁護委員の候補者の推薦について		◎同意
意見書案第1号	平成29年7月九州北部豪雨災害における特別の財政支援及び合併特例事業債の適用期間延長を求める意見書の提出について		◎可決
意見書案第2号	「被災した中小企業・小規模事業者の施設・設備の復旧、並びに再興等に対する補助金制度の創設」を求める意見書の提出について		◎可決

請願書 意見書

平成29年7月九州北部豪雨における被災商工業者への復旧復興支援に関する請願書

平成29年7月九州北部豪雨災害における特別の財政支援及び合併特例事業債の適用期間延長を求める意見書

【請願趣旨】

被災した中小企業・小規模事業者の施設・設備の復旧、並びに再興等に対する補助金制度を創設されるよう関係機関に要請すること

【請願者】

朝倉商工会議所 会頭 大隈 晴明
朝倉市商工会 会長 岩下 繁隆

【紹介議員】

梶原 康嗣 半田 雄三 浅尾 静二

全会一致で採択し、同趣旨の意見書を関係機関に提出しました。

【意見書要旨】

1、実効性のある補正予算の追加や地方交付税等による十分な財政支援を図ること
2、平成24年度の九州北部豪雨災害と今回の災害により合併に伴う事業が大幅に遅れることが懸念されるため、その影響が軽減されるよう合併特例債の期限延長を図ること

【提出者】

稲富 一實 手嶋 栄治 浅尾 静二 今福 勝義

全会一致で可決し、関係機関に提出しました。

12月議会 会期日程(予定)

- 12月5日 ◎開会
○会期の決定
○会議録署名議員の指名
○議案等の上程
○提案理由の説明
6・7日 (考案日)
8・11日 ○一般質問
12日 ○一般質問
○議案等の質疑
○議案等の委員会付託
◇常任委員会
13・14日 ◇常任委員会
15・18日 (事務整理日)
19日 ○議案等の審議(委員長報告 質疑・討論・採決)
○諸般の報告
◎閉会

12月定例会の会期日程は、11月30日(木)開催予定の議会運営委員会に変更になる場合があります。

平成29年7月九州北部豪雨による朝倉市の被災に対し、多くの市町村議会・議長会・各団体の皆様から、心温まるお言葉と義援金及び見舞金を頂戴し、心からお礼申し上げます。義援金及び見舞金は被災された方々への支援、市の復旧・復興のため活用させていただきます。
朝倉市議会といたしましても、被災された方々のため力を尽くしてまいりますので、今後とも皆様のご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

編集後記



7月5日から本市を襲った豪雨では、30名の尊い命が奪われ、今なお4名の方が行方不明となっております。(朝倉市11月1日現在) 一日も早く発見されることをお祈りするばかりです。

また、被災されて自由な生活を送られている皆様が一日も早く元の生活に戻れますよう、さらに、無残に破壊された我らが郷土を取り戻すために、市議会としても執行部と力を合わせ、全力を尽くしてまいります。
復旧復興に向け、なお一層のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

広報委員会

- 委員長 今福 勝義
副委員長 重松 一英
委員 村上百合子
委員 浅尾 静二
委員 堀尾 俊浩
委員 佐々木明子